

2024年10月6日 聖霊降臨後第二十主日礼拝説教
「結ばれているから」(マルコ10章2～16節)

○マルコ10章2～8節について

「天地創造の初めから、神は人を男と女とにお造りになった。」(6節)

エルサレムへと続く〈死に至る道〉を歩まれていた神の子イエスが、ガリラヤからユダヤに上って来られた時、「夫が妻を離縁すること」(2節)について尋ねる人たちがいた。

☞昔も今も、人の思い一つで夫と妻が結ばれても、やがて絆が裂けることもある。キリストは、妻と夫の繋がりが人を超えた神の御心により始まったものだと教えられた。

「人は父母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。」(7,8節)

夫と妻が一つに結ばれるのも、神から与えられた恵みなので、御心から離れ、人の願いだけで生きるのなら、お互いの欲をぶつけて、一つとされた心も体も傷つけ合う交わりとなる。

※妻と夫だけでなく、親と子などの〈人と人との繋がり〉も天地創造の初めから神によって導かれ、整えられるもの。

今日のみことば：マルコ10章9節

「神が^{かみ}結び^{むす}合わせて^あくださったものを、人は^{ひと}離^{はな}してはならない。」

*結び合わす：二つのものを一つに強く繋ぎ合わす

神は、一つに結ばれた二人の間を、とても固い絆で繋ごうと願われるが、夫も妻も、結び合わせた神を忘れると、ほかのものに心を奪われ、結び目の締めまりも緩んでいくことに。

☆キリストに依り頼む〈あなた〉は、十字架による赦しと結び合わされ、だれも、この強い絆を切ることはできない。

◎聖書朗読：ローマ8章35～39節(新約285ページ)

「人を聖なる者となさる方も、聖なる者とされる人たちも、すべて一つの源から出ているのです。」(ヘブライ2章11節)

※わたしたちは、一つの源を共にして、赦しの愛で結ばれた救い主イエスに、なんでも見せ、話し合うことができる。